

～ 予 防 接 種 ～

☆子どもがかかりやすい病気の中に「感染症」があります。さまざまな感染症がありますが、中には、重い後遺症が残る病気もあり、このような病気から子どもを守るのが予防接種です。予防接種は病原体に対して免疫をつけるものです。感染症からお子さんを守るために予防接種の効果と副反応をよく理解し、接種間隔を守って接種しましょう。



＜予防接種の受け方＞ ☆予防接種のスケジュールはかかりつけ医に相談しましょう！予防接種は体調が良いときに受けるのが原則です！

- ①予防接種の案内通知が届いたら、接種年齢（月齢）を確認してから契約医療機関へ電話予約します。
 - ②接種当日の体調がよい場合は、予診票を記入して親子（母子）健康手帳を持参して行きましょう。接種当日の体調が悪い場合は、医療機関へ電話して予約を変更してください。
- ※標準的な接種開始月齢や接種期間とは、お母さんから赤ちゃんにあげていた免疫効果の減少、感染症にかかりやすい年齢、かかった場合に重症化しやすい年齢などを考慮して、予防接種に適した時期を定めています。
- ※必要な場合は、複数のワクチンを同時に接種することが可能です。かかりつけ医と相談しましょう。

予防接種名	接種回数	接種時期、接種間隔
ヒブ	初回3回 追加1回	【標準的な接種開始月齢※】 接種開始が生後2か月～7か月未満の場合 初回：27日（医師が必要と認めた場合は20日）～標準的には56日までの間隔をおいて3回 追加：初回接種終了後、7か月～標準的には13か月までの間隔をおいて1回 ※ただし、初回2～3回目の接種は、1歳未満までに行い、1歳を超えた場合は行わない。この場合、追加接種は実施可能であるが、初回接種に係る最後の注射終了後、27日（医師が必要と認めた場合は20日）以上の間隔をおいて1回行う。
	初回2回 追加1回	接種開始が生後7か月～1歳未満の場合 初回：27日（医師が必要と認めた場合は20日）～標準的には56日までの間隔をおいて2回 追加：初回接種終了後、7か月～標準的には13か月までの間隔をおいて1回 ※ただし、初回2回目の接種は、1歳未満までに行い、1歳を超えた場合は行わない。この場合、追加接種は実施可能であるが、初回接種に係る最後の注射終了後、27日（医師が必要と認めた場合は20日）以上の間隔をおいて1回行う。
	1回	接種開始が1歳～5歳未満の場合
小児用肺炎球菌	初回3回 追加1回	【標準的な接種開始月齢※】 接種開始が生後2か月～7か月未満の場合 初回：標準的には1歳までに27日以上の間隔をおいて3回 追加：1歳～1歳3か月の間を標準的な接種期間として、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて1歳以降に1回 ※ただし、初回2～3回目の接種は2歳未満までに行い、2歳を超えた場合は行わない（追加接種は実施可能）。 また初回2回目の接種は1歳未満までに行い、1歳を超えた場合は、初回3回目の接種は行わない（追加接種は実施可能）。
	初回2回 追加1回	接種開始が生後7か月～1歳未満の場合 初回：標準的には1歳までに27日以上の間隔をおいて2回 追加：1歳以降に、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて1回 ※ただし、初回2回目の接種は2歳未満までに行い、2歳を超えた場合は行わない（追加接種は実施可能）。
	2回	接種開始が1歳～2歳未満の場合 60日以上あけて2回接種
	1回	接種開始が2歳～5歳未満の場合
B型肝炎ワクチン	3回	接種開始が生後2か月～1歳未満 初回～27日以上をあけて2回目を接種 初回～139日以上をあけて3回目を接種
ロタウイルス ※令和2年8月1日以降生まれ が対象	(1冊) 2回	接種開始が生後2か月～6か月未満 初回～27日以上をあけて2回目を接種
	(2冊) 3回	接種開始が生後2か月～8か月未満 初回～27日以上をあけて2回目を接種 2回目～27日以上をあけて3回目を接種



予防接種名	標準的な接種期間 ※		接種回数	備考
DPT-IPV (ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ)	1期初回	生後3か月～12か月	3回	平成24年11月以降、生後3か月になる乳児が接種対象。 20日～標準的には56日までの間隔をおいて3回
	1期追加	初回接種終了後、12か月～18か月の間	1回	
BCG	生後5か月～8か月		1回	生後5か月になったらすぐに接種するのが望ましい
水痘(みずぼうそう)	1歳～3歳未満		2回	3か月～標準的には6か月以上12か月までの間隔をおいて2回
MR (麻疹風しん混合)	1期	1歳～2歳未満	1回	1歳になったらすぐ接種するのが望ましい
	2期	5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間	1回	4月～6月頃に接種するのが望ましい
日本脳炎	1期初回	3歳	2回	6日～標準的には28日までの間隔をおいて2回
	1期追加	4歳	1回	初回接種終了後、標準的にはおおむね1年の間隔をあけて
	2期	9歳	1回	
	特例措置	平成23年5月20日から、平成17～21年度の間に日本脳炎の予防接種の機会を逃した方々の接種時期が緩和され、平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方で20歳未満の間、第1期及び第2期の未接種分を受けられるようになります。接種を希望される方は予防接種担当までご連絡ください。 ワクチン供給量を踏まえ、平成31年度は2期を18歳となる方（平成13年4月2日～平成14年4月1日生）へ予防接種のご案内を行います。 *平成28年度より、通常2期対象者（9歳となる方）にも案内を行っています。		
DT (ジフテリア・破傷風)	2期	小学校6年生	1回	
子宮頸がん予防	中学1年生の女子		3回	6か月の間に3回接種。ワキの種類により接種間隔が異なる。

＜他の予防接種との接種間隔のあけ方＞

- ◎ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。十分な効果を得るために、他の予防接種を受けるときは必要な間隔をあけてください。
- ◎ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。十分な効果を得るために、他の予防接種を受けるときは必要な間隔をあけてください。
生ワクチンは接種後、体内で病原体が増え、約1か月で抗体が得られます。不活化ワクチンは病原体が増えないため、何回か接種する必要があります。
- ◎病気が治癒してから、必要な間隔をあけて受けてください。医師とご相談ください。

他の予防接種との間隔

不活化ワクチン 6日（1週間）以上あける DPT-IPV、DPT、B型肝炎、不活化ポリオ、DT、日本脳炎、ヒブ、肺炎球菌 子宮頸がん予防、インフルエンザ の予防接種を受けた方は	他 の 予 防 接 種 を 受 け る
生ワクチン 27日（4週間）以上あける 麻疹、風しん、麻疹風しん混合(MR)、BCG おたふくかぜ、みずぼうそう、ロタウイルス の予防接種を受けた方は	

病気との間隔

突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑など 治癒後1～2週間以上あけて	他 の 予 防 接 種 を 受 け る
風疹、みずぼうそう、おたふくかぜ 治癒後2～4週間以上あけて	
麻疹 治癒後4週間以上あけて	

☆ポリオの予防接種が終了していない場合は、ポリオ(不活化)ワクチンを接種しましょう。				
予防接種名	標準的な接種期間※		接種回数	備考 (接種間隔など)
ポリオ (不活化)	1期初回	生後3か月～12か月	3回	対象年齢は生後3か月～7歳6か月未満。 初回接種は、20日～標準的には56日までの間隔をあけて3回（平成24年9月1日から3年程度、20日以上の間隔をあけて接種可能）
	1期追加	1期初回接種終了後の12か月～18か月の間	1回	

＜定期予防接種の種類とスケジュール表＞

予防接種の種類	対象年齢	標準的な接種スケジュール（おおすすめの接種時期）													備考
		乳児期			幼児期					学童期					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以降			
B型肝炎ワクチン	生後2か月～1歳未満	①②は27日以上の間隔で接種 ③は①～139日以上の間隔をあけて接種 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日													初回接種から27日以上あけて2回目を接種。初回接種から139日以上あけて3回目を接種。
ロタウイルス	生後2か月～6か月未満	①②は27日以上の間隔で接種 ① 年 月 日 ② 年 月 日													初回接種から27日以上あけて2回目を接種。
	生後2か月～8か月未満	①②③は27日以上の間隔で接種 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日													27日以上の間隔をあけて3回接種。
ヒブ	生後2か月～5歳未満	①②③は27日～標準的には56日の間隔で3回 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日 ④から7か月～標準的には13か月の間 ④ 年 月 日													初回接種時の月齢により接種回数が異なります。
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	①②③は27日以上の間隔で3回 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日 1歳以降、④から60日以上あける ④ 年 月 日													初回接種時の月齢により接種回数が異なります。
DPT-IPV (4種混合)	生後3か月～7歳6か月未満	①②③は20日～標準的には56日までの間隔で3回 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日 ④から約1年後 ④ 年 月 日													1期初回：20日～標準的には56日の間隔をおいて3回接種 1期追加：初回接種終了後、12～18か月の間に4回目を接種
BCG	1歳未満	年月日													生後5か月になってから1回接種。
MR (麻疹風しん)	1期：1歳～2歳未満 2期：小学校就学前1年の間	小学校就学前1年の間（H31年度対象：H25.4.2～H26.4.1生まれ） 1期 年 月 日 2期 年 月 日													第1期：1歳になったらすぐ受けましょう。 第2期：4～6月の間に接種するのが望ましい。
日本脳炎	1期：3歳～7歳6か月未満 2期：9歳～13歳未満	①②は6日から標準的には28日の間隔。③は2からおおむね1年後 ① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日 ④2期 年 月 日													1期初回：6日～標準的には28日の間隔をあけて2回接種 1期追加：初回接種終了後、標準的にはおおむね1年あけて3回接種 2期：1期終了後6日～標準的には28日の間隔をあけて9才～13歳未満で1回接種 ※特例対象者（平成7年4月2日生～平成19年4月1日生）は20歳未満までの間、不足回数分を定期接種として受けられます。
DT (2種混合)	11歳～13歳未満	11歳～12歳（小学校6年生） 2期 年 月 日													小学校6年生になったらすぐに接種しましょう。
子宮頸がん 予防	小学校6年生～ 高校1年生相当の女子	① 年 月 日 ② 年 月 日 ③ 年 月 日													6か月の間に3回接種。ワクチンの種類により接種間隔が異なります。
水痘 (みずぼうそう)	1歳～3歳未満	①②は6か月から12か月未満の間隔。 ① 年 月 日 ② 年 月 日													1歳～3歳未満。標準的には6か月～12か月未満の間隔をあけて2回接種。 *水疱に罹患した者については予防接種は必要ありません。

【定期接種】
病気の発生及び流行を予防するために、特に予防接種を行う必要があると国が認めている病気について、予防接種法という法律で定められた予防接種です。

